

令和5年第4回筑紫野市議会定例会（6月） 提出議案について

令和5年第4回筑紫野市議会定例会（会期：6月9日）に次の議案を提案しましたので、その内容をお知らせします。

同意第3号	筑紫公平委員会委員の選任について
筑紫公平委員会は、地方公務員法第7条第4項の規定に基づき、筑紫地区5市等により共同設置しており、職員に対する不利益な処分についての不服申し立てに対する裁決を講ずることなどを目的に、3名の委員をもって組織されているもので、5市の輪番により、選出しています。 同委員会委員のうち、下田善太郎氏の後任として、本年7月20日より白水和幸氏を選任することについて、筑紫公平委員会設置規約第3条第1項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。	
同意第4号	筑紫野市監査委員の選任について
本件は、議会選出の下成正一氏が、本年5月24日をもって任期満了となられたことに伴うものです。 後任として山本加奈子氏を選任することについて、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。	
同意第5号	筑紫野市教育委員会委員の任命について
本件は、本年3月6日に任期満了となった教育委員の田代邦夫氏の後任として和田法明氏を任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会の同意を求めるものです。	
議案第39号	筑紫野市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
本件は、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。	

本予算は、歳入歳出の予算の総額を、前年度比 6.0% 増の 351 億 3,600 万円とするものです。歳出予算の主な内容は、子育て支援、障がい者支援、高齢者福祉の充実などに対応するため、扶助費については、前年度比 6.3% 増の 125 億 6,839 万 6 千円を計上しています。また、普通建設事業費については、急傾斜地崩壊対策事業や小学校の増改築、中学校ナイター施設の改修に要する費用などを計上しています。このほか、新型コロナウイルス感染症や防災減災に関する事業などを計上しています。

次に、歳入予算の主な内容ですが、市税については、前年度比 4.6% 増の 140 億 8,759 万 8 千円、国庫支出金は、前年度比 13.2% 増の 83 億 2,949 万 1 千円、県支出金は、前年度比 2.1% 増の 33 億 2,397 万 3 千円を計上しています。

なお、債務負担行為については第 2 表、地方債については、第 3 表のとおりです。

また、一時借入金の最高額は 60 億円に、歳出予算の流用については、第 5 条に規定をしています。